

資料1

第2次村上市環境基本計画

令和6年度 進捗状況報告書

令和7年1月

新潟県 村上市

1. 第2次村上市環境基本計画の目指すもの

平成23年3月に策定した「第1次村上市環境基本計画」では、「山・川・海 豊かな自然に育まれた歴史と伝統を継承するまち」を望ましい環境像として掲げ、環境の保全及び創造に関する施策に取り組んでまいりました。

新しく令和3年3月に策定した「第2次村上市環境基本計画」では、市の豊かな環境を将来世代へと継承していくことを念頭に、近年の気候変動や地球温暖化、脱炭素社会に向けた取組など環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、本市における環境問題の解決や将来に向けた環境施策の更なる推進を図ることで、環境像「豊かな自然と調和しながら発展して共生する循環共生型社会のまち」の実現を目指します。

2. 計画の期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から12年度（2030年度）までの10年間です。

また、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に対しても柔軟に対応するため、期間の中間年度である令和7年度において、環境指標について必要な見直しを行うこととします。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、目指す環境像の実現に向け、「自然環境」「循環共生」「地球温暖化」「文化景観」「教育協働」という5つの基本目標を掲げ、各環境施策がSDGsの17の目標達成に貢献できるよう、施策の方向性を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、環境指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

4. 令和6年度進捗状況報告

（1）環境指標の進捗状況

環境指標の進捗状況については、関係各課から実績値を求め、昨年度の実績値や計画目標値と比較し、「別紙1 令和6年度 環境基本計画 環境指標の進捗状況」にまとめました。

目標値の達成状況は、令和12年度の目標値に対して、「○（達成）」が15件、「×（未達成）」が13件となりました。

(2) 環境施策

令和6年度の環境施策の達成状況について、各課に点検・評価を求め、「【別紙2】令和6年度 環境基本計画 施策評価一覧」にまとめました。

基本目標ごとの令和6年度の主な施策の成果については、以下のとおりです。(番号は、“基本目標－施策の方向性－施策”の順)

1 市の自然豊かな環境の後世への継承

(1-1-2-2) 親しみやすい水辺環境の整備

国交省が荒川河川区域内に整備した水辺の楽校は、令和4年8月の水害で被災し、利用できない状態となっていましたが、水害被害から復旧し通常利用できるようになりました。

(1-1-5-2) 鳥獣被害対策の推進

ニホンザル対策については大型捕獲檻を設置することで、捕獲力の強化を図りました。イノシシの被害が継続しているため、「有害鳥獣捕獲の担い手確保事業補助金」により新たに狩猟（わな）免許を取得する人に対して登録手数料や保険料などの支援を行い、令和6年度は11名に支援を行いました。

2 持続可能な循環共生型の社会

(2-1-1-3) EV公用車、EV充電設備の導入推進

エコカーの普及促進のため、民間のEV充電サービス事業者と連携し、市内のEV充電インフラを拡充する事業として公共施設10箇所にEV充電器(6kW)を25基設置しました。(累計21施設47基) また公用車として1台次世代自動車を導入しました。

(2-3-1-1他) 地産地消の推進

地元食材を使った料理や知識を継承していくために「食のかたりべ学校」を開催し、茶畑と醤油・味噌蔵の見学、レシピ開発、村上の食材を使った調理実習などの活動を行いました。また、貝フェスティバルを開催し、旬の岩ガキをはじめ地物の貝類の販売を行いました。

(2-3-1-2) 林業の市産材の普及促進

村上市産材利用住宅等建築奨励事業により、住宅等での市産材購入経費に対して支援することにより、市産材の利用促進を図りました。申請件数は37件(前年度比5件増)、利用量はV=629m³(前年度比192.61m³増)と前年度より多くの利用がありました。

(2-3-1-3) 省エネルギー型漁業の推進

新潟漁協山北支所において、省エネ型冷凍設備を整備することに対し補助を行いました。また海面漁協において、省燃油活動として船底清掃と減速航行に取り組みました。

3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開

(3-1-1-1) 省エネルギー住宅へのリフォーム促進

エアコン、LED照明、断熱改修を対象に含めた「村上市未来に向けた住まいづくり推進事業補助金」(旧:村上市住宅リフォーム事業補助金)を実施しました。交付件数は前年度14件から令和6年度68件と大幅に増加しました。

(3-1-2-2他) EV公用車、EV充電設備の導入推進【再掲】

(3-1-3-1) 公共施設照明LED化の推進

公共施設照明LED化の取組の方向性について、「村上市公共施設LED化整備方針」としてまとめ、令和7年度からの事業実施の道筋を付けました。

(3-2-1-1他) 再生可能エネルギーの導入推進

民間事業者による洋上風力発電事業や木質バイオマス発電事業について、住民説明会、市報及びホームページ等で周知を行うなど、事業推進について側面的支援を行いました。

(3-3-1-1他) 公共交通の充実による温室効果ガス排出量の削減推進

令和6年10月からのバス再編に伴い、路線や便数、時刻の変更を行い、利便性向上のための取組を実施しました。また乗合タクシー事業については、乗降場所等を増やし利用率向上のための取組を実施したほか、村上-寒川のりあいタクシーを新規で実施しました。

(3-4-2-1) 熱中症対策の推進

政府の熱中症対策実行計画に基づき、具体的な施策を定めた「村上市熱中症対策実行プラン」を令和6年5月に策定し、庁内ワーキングチームによる各課横断及び官民連携による取組を展開しました。各種媒体による熱中症警戒アラートや注意喚起の周知、高齢者等訪問活動時の声かけ、クーリングシェルター及び涼みどころの面的展開、住宅用エアコンの設置推進などの取組を進めた結果、死者ゼロ、救急搬送者数前年比33.3%減と、一定の効果が得られました。

4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり

(4-1-2-2)

地域住民、民間団体及び企業などが実施するクリーン活動や一斉清掃の実施件数が前年度96件から令和6年度113件と大幅に増加しました。市も環境美化用ごみ袋の無料配布やごみの回収を実施することで、活動を支援しました。

(4-2-1-1) 伝統や文化財保護の意識啓発

新たに日本遺産北前船シンポジウムを開催し、北前船に関する保存と活用について、官民の意識の共有を図るとともに、聴衆者である市民に文化財保護意識を啓発することができました。

(4-2-2-1) 伝統行事の継承

4月3日開催の大須戸能定期能の台詞入り動画を配信サイトで公開するとともに、8月15日の薪能を5年ぶりに、新しい会場である大須戸八坂神社能舞台八坂神社で開催しました。

5 市民や産業とともに発展する環境づくり

(5-1-1-1)

環境フェスタや緑の陣によるグリーンカーテンの取組による啓発活動を推進しました。環境フェスタでは、「だすけ村上」と連携し、会場の内外でイベントを展開し、前年比400人増の集客数増につなげ、来場された方に環境問題に対する意識啓発の推進を行いました。また、環境フェスタ実行委員会でイベントの企画を進める中で、環境保全活動を行う市民団体同士の交流を深めることができました。

令和6年度の集計結果を表1に、令和5年度の集計結果を参考に示します。

表1 令和6年度環境施策評価の集計結果

評価 基本目標	令和6年度 評価集計				
	A	A 現状 維持	B	C	合計
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	2	30	2	2	36
2 持続可能な循環共生型の社会	3	56	2	9	70
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	14	25	2	1	42
4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	5	11	0	1	17
5 市民や産業とともに発展する環境づくり	4	20	0	1	25
合 計	28	142	6	14	190
割 合	14.7%	74.7%	3.2%	7.4%	100%

参考 令和5年度環境施策評価の再評価集計結果

評価 基本目標	令和5年度 評価集計				
	A	A 現状 維持	B	C	合計
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	6	26	1	3	36
2 持続可能な循環共生型の社会	5	54	2	9	70
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	18	21	3	0	42
4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	1	14	1	1	17
5 市民や産業とともに発展する環境づくり	6	17	0	2	25
合 計	36	132	7	15	190
割 合	18.9%	69.5%	3.7%	7.9%	100%